

第3章 市民による里山管理手法

1 考え方の基本

(1) 光条件の改善

放置された雑木林の林床の植物を増やすことを目的とします。このためには地表部に光が当たる必要があります。

このポイントは3つあります。

- ①高層に対して：上中木の葉の量を減らす。間伐や枝落としがこれにあたります。
- ②中層に対して：ササなどの大型の草本の除去。
- ③下層に対して：下層植生の刈り取りと落ち葉の除去。



ササの刈り取り、運び出し



下層植生の刈り取りと効果をみる



明るくなった雑木林にヤマユリが生える

(2) 林床植物に注目する

高さが10cm程度の小型の林床植物は、落ち葉が上にかぶさると暗くなりますので徐々に衰退してゆきます。

目にとまる小型の林床植物

タチツボスミレ、フデリンドウ、アマナ、
アズマイチゲ、ニリンソウ
(カタクリ)



今では珍しいアマナ